

2022年

5月



ちばさぽ通信

Vol.49

地域の一步が世界につながる

【JFSA 古着ショップ：千葉市中央区都町】



【衣類選別作業の様子】



【輸送用にまとめられた衣類】

表紙の団体紹介

特定非営利活動法人日本ファイバーリサイクル連帯協議会 (JFSA)
パキスタンのスラムに作られた学校を支援しています。回収した衣類や毛布、バッグなどをパキスタンに送り、一部は国内の古着ショップやフリーマーケットで販売し、その売上をNPO法人の運営にあてています。

CONTENTS

- 事業&活動報告
 - 2022年度の活動について
- ミニコラムちばさぽの風Vol.49
- 登録団体活動紹介コーナー
- CatchUp BOOK PARK ちばぎんざ
- ちばさぽからのお知らせ
 - 千葉市民活動フェスタ実行委員募集
 - フェスタ・お知恵拝借ミーティング開催
 - 運営協議会開催のお知らせ
- Q&A

編集・発行

千葉市民活動支援センター

指定管理者：特定非営利活動法人まちづくり千葉
〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1
千葉中央ツインビル2号館9階
TEL：043-227-3081 FAX：043-227-3082
Mail：info@chiba-npo.net
Web：https://chiba-npo.net/
Facebook：https://www.facebook.com/chibasapo



〈開館時間〉
平日・土曜
午前9時～午後9時
日曜・祝日
午前9時～午後6時
〈休館日〉
年末年始
(12月29日～1月3日)



よろしくお願いいたします。

今年度からセンター長を拝命いたしました山本俊子です。以前よりセンター利用の皆さまにはお馴染みですが、改めてよろしくお願いいたします。前センター長の原田は「コーディネーター」としてセンターの運営に関わり、また専門家として個別相談にも従来どおり携わってまいります。事務局長 榎浦ともども引き続きよろしくお願いいたします。



2022年度の活動について

新規事業もありますが、従来からの継続事業も少しずつ進化させていきます。

【千葉市民活動フェスタ】

新型コロナの影響を受けて昨年・一昨年はオンライン中心の開催となりました。今年も11月の開催を予定しています。意欲ある実行委員さんの参加をお待ちしています！

また、今回は新たな試みとして、実行委員会開催の前に、誰でも参加して自由に話せる「お知恵拝借ミーティング(ブレイン・ストーミング)」を行い、皆さんのお知恵を頂こうと思っています。こちらにも是非ご参加ください。

【登録団体】

今年度から、町内会・自治会もセンターに団体登録ができるようになりました。市民活動団体と町内会・自治会の連携により、地域の活性化の扉が一つ開くような気がします。

【ちばボランティア塾】

5年間実施してきた「まちなかボランティア養成講座」が終わりました。

(未修了の方のために実習は今年度も実施します。)

代わって今年からは、「ちばボランティア塾」が開講。新たな切り口から、



ボランティアが初めての人にも、活動をグレードアップしたい人にも興味を持っていただけそうな講座を企画中です。

【市民活動マッチングカタログ】

ボランティアや市民活動に参加したい人を、積極的に受け入れる団体を紹介するカタログ。この紙面が団体同士の交流のきっかけにもなればと考えています。

【ちばさぽ通信】

奇数月の初旬にお送りしているニュースレター「ちばさぽ通信」は、登録団体をはじめコミュニティセンターや公民館、大学など約900カ所以上に送られています。

【市民活動ステップアップ講座】

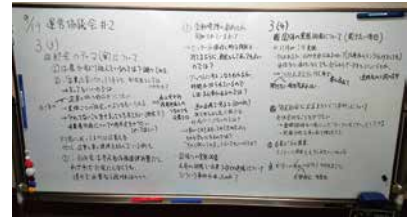
団体の運営や組織力強化に役立つ講座です。必要な知識やスキルの取得に、この講座を活用してください。

【専門家による個別相談】

税務・会計、ICT活用、広報、団体の立ち上げやNPO法人の運営など、テーマごとの専門家と1対1で相談できます。より利用しやすい仕組みにするため検討中です。

【運営協議会】

より良いセンターとなるよう、運営面への意見をいただく場です。今年、固定した委員ではなく、意見のある方に自由に参加して頂ける、新しい会議の形を考えています。



ミニコラム

ちばさぽの風

vol.49

雑感～センター長退任のご挨拶に代えて～

コーディネーターの原田正隆と申します。2017年度から5年間に渡って務めましたセンター長の職を、本年3月末をもって退任いたしました。本欄をお借りして、在任中お世話になった皆さまへお礼を述べさせていただくとともに、雑感を綴りたいと思います。

まずはこの5年間、本当に多くの方にさまざまな方面から支えていただきました。感謝に堪えません。特に利用者の皆さまからは、いつも暖かいお言葉や時には叱咤激励をいただいた上、職場を離れて、プライベートなお付き合いをさせていただくこともありました。団体の活動現場にお邪魔をしたり、メール等でやりとりをしたりしている方もいらっしゃると思いますが、皆さまとの交流を通じて視野が広がり、業務に活かすことができましたし、何より気持ちが豊かになりました。

在任中は、度重なる気象災害や新型コロナウイルス禍に見舞われたことも、触れずにはられません。災害支援の現場で市民活動団体が大いに活躍した一方、コロナ禍で活動は大きな制約を受けました。東京オリンピック・パラリンピックも開催こそされましたが、ボランティアの活躍の場が少なくなってしまったことは、残念としか言いようが

ありません。

センターの運営においては、臨時休館や利用制限などの対応に追われました。事業ではオンラインの活用などの試みを行い、新たな気づきを得たり、メリットを享受したりすることもできましたが、入館者数はコロナ禍前の半数程度にまで減少。市民活動の活性化にブレーキがかかってしまったことは間違いないでしょう。「withコロナ時代の市民活動」を考える必要があるのでしょうか、活動の工夫にも限界があるため、早くコロナが完全に終息してほしいと願っている、というのが正直なところです。

まさしく「まとまりのない感想」になっていますが(汗)、これからも市民活動支援の仕事が続けるにあたって、少し視点や角度を変えて市民活動のことを捉える必要がありそうです。今もプライベートで市民活動に参加していますが、その時間をもう少し増やして、さらに視野を広げるなどしていきたいと思っています。

最後になりますが、利用者の皆さまの他、千葉市民活動支援センターに関わりをもたれたすべての方に、あらためてお礼を申し上げます。5年間、本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

登録団体活動紹介コーナー

ちいさな翼

活動エリア▶千葉県
所在地▶千葉市
連絡先▶chiisanatubasa@gmail.com
担当者氏名▶福地・金井



ちいさな翼は障がいや難病を持つ方のスポーツ支援事業を行なっています。競技は固定せず、いろんな道具を使い身体を動かして頂きます。また、身体機能、体力の維持向上、コミュニケーションスキル向上に繋がるようなプログラムを導入しております。競技を固定しない理由として、みなさんに



いろいろな事にチャレンジして頂き、自分自身が何をしたいのか見つける場所になればと思っています。



理学療法士M&S

活動エリア▶千葉市
所在地▶千葉市内
連絡先▶3110junya1.8@gmail.com
担当者氏名▶みやとう じゅんや

2021年度から活動を開始しました。メンバーは20代の医療スタッフで構成されている団体です。ちば地域リハ・パートナーにも登録されました。活動内容は介護予防教室・個別の健康相談会が中心です。私たちは様々な団体とコラボして、地域の方々が元気に過ごせるようイベントを企画しております。ご興味のある方は気軽にご連絡ください。



日本防災士会 千葉県支部

活動エリア▶千葉県
所在地▶千葉市美浜区打瀬
連絡先▶090-1768-3168
toiawase@office.chiba-bousaishikai.jp
担当者氏名▶馬場内 則子



日本防災士会千葉県支部は、県民の皆さんの防災力向上を目的として、防災講座や防災訓練等の講師や指導員を派遣しています。

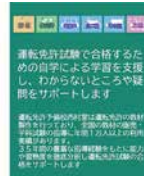
ご依頼・お問い合わせはHPまたはメールでお気軽に！



六虹会(ろっこうかい)

活動エリア▶千葉市・オンライン
所在地▶千葉市美浜区浜田2-33 運転免許予備校 西村堂内
連絡先▶043-275-0393 info@6-rainbow.com
担当者氏名▶坂井 祐子

運転免許の自学自習を応援する『TERAKOYA』のご紹介。外国籍の方の日本語・英語受験から発達障がいや軽度の知的障がいのある方の運転免許の取得をサポートする六虹会です。運転免許試験の学科試験は1問を約30秒で回答しなければなりません。文章を読む時間は15~20秒しかありません。文章を速く読み、意味を理解する能力を向上し、自分のためのやり方を見つけるためのお手伝いをします。



①今使用している教材で学習できます
②疑問などはその場で質問できますので安心です

CatchUP 再開!ちばぎんざ図書館が「BOOK PARKちばぎんざ」に

しばらく閉館していたちばぎんざ図書館が「BOOK PARK」としてリニューアル・オープン。「公園」らしく床は人工芝、なんと屋外用の本格的なテントまで張られています。子どもたちにはきっと魅力的。大人もここに寝そべて本を読むのは楽しそうです。

民間図書館の機能に加え、シェアスペースとしての活用、さらに気に入った本を買い取ることもできる古書販売のシステムが加わりました。すべての手続きはスマホの会員証で行い、

代金はメルペイやauPayなどのQRコード決済。バーコードをリーダーにかざすだけの非接触処理です。売り上げの半分が図書館の運営費とし



て寄付されるので、古書を買わずにぜひBOOK PARKで！

平日日中は無休で開館。会員登録は無料ですが、有料会員になるとスペースを24時間利用できます。リモートワークに便利です。貸し切りもできます。定員は20名。勉強会やイベントにどうぞ。いろいろ便利でいろいろ活用できそうな千葉銀座商店街の新スポットBOOK PARK。連休明けに是非行ってみましょう。

住所▶千葉市中央区中央3-3-9 MF9ビル2階
開館▶月から金曜日 10:00~17:00
運営▶地域力研究所(協力:NPO法人情報ステーション)

ちばさぼからのお知らせ

■千葉市民活動フェスタ実行委員募集

今年11月頃に開催予定の「千葉市民活動フェスタ2022」に向けて実行委員を募集します。関心のある方は、ぜひご参加ください。登録団体の方、ボランティアや市民活動に興味のある方、皆様のご応募をお待ちしています。



- 開催日時▶月2回程度、平日の19:00~20:30を予定
- 開催場所▶千葉市民活動支援センター(オンライン併用)
- 任期▶2022年12月まで
- 募集人員▶10名程度
- 報酬▶なし
- 応募方法▶応募したい旨、センターまで連絡下さい。応募用紙をメール・FAXにてお送りします。
- 応募締切▶2022年6月21日(火)
※初回開催は、6月23日(木)午後7時の予定です。

■フェスタ・お知恵拝借ミーティング開催

毎年11月に開催している千葉市民活動フェスタ。一昨年からオンラインも取り入れています。これからのフェスタをもっと盛り上げていくため、実行委員会を開く前に、どなたでも参加できる井戸端会議のようなミーティングを開催します。対面で1回、オンラインでも1回開催。たくさんのアイデア・思いつき・工夫・構想・夢などを気軽に話し合しましょう。

①対面ミーティング

- 日時▶2022年6月2日(木) 19:00~20:30
- 会場▶千葉市民活動支援センター会議室
- 定員▶12名(申込み先着順)

②オンラインミーティング

- 日時▶2022年6月9日(木) 19:00~20:30
- 会場▶オンライン (Zoomミーティング)
- 定員▶30名(申込み先着順)



なお第1回の実行委員会は6月23日に開催。委員として参加してもいいと手をあげてくださる方も歓迎します。

■運営協議会開催のお知らせ

当センターを有益な施設とし、市民活動を活性化させるため、施設や事業の運営に関する助言や提案を頂く場として運営協議会が設置されています。今年により多くの方々からの意見をいただくため、委員の選任は行わず、運営協議会当日に集まった方々を委員とさせていただきます。日頃からセンターについての意見をお持ちの方に限りません。どうぞ奮ってご参加ください。



- 日時▶2022年6月30日(木) 19:00~20:30
- 会場▶千葉市民活動支援センター会議室及びオンライン
- 定員▶対面参加は上限8名・オンラインは20名
(※いずれもお申込み先着順)
- 対象▶千葉市在住・在勤・在学・在活動の方
- 締切▶6月28日(火) 15:00

○お申込み方法(すべての講座・事業共通)

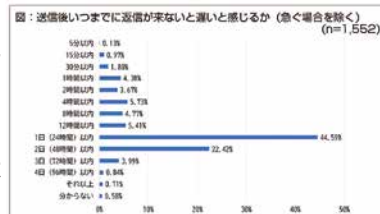
千葉市民活動支援センターまで、メール、FAX、TELにて、以下の項目をご連絡ください。

- ①講座名、②お名前、③ご住所(市区町村名まで可)、④連絡先(電話またはメール)、⑤所属団体(あれば)
- ※オンライン参加を希望の方は、メールで申込み下さい。

Q&A? 団体の登録には何か条件がありますか?

ちばさぼの登録要件には ★地域活動を行う(予定も含む) ★営利活動・宗教活動・政治活動や選挙に関わらない ★千葉市内に所在、又は主に千葉市内で活動する★人数2名以上の団体★公序良俗を乱さず良識に従う 等が定められています。今回「構成人数」が2名と変更されました。また今年度から、ボランティアグループ・市民活動団体に加えて、町内自治会や地域運営委員会の登録が可能となりました。団体との連携で地域活動に弾みがつくかもしれません。詳しくは利用案内があるのでおたずねください。

法人日本ビジネスメール協会が、仕事でメールを使う1,552人を対象に行った『ビジネスメール実態調査2020』によると、1日(24時間)以内に返信が来ないと遅いと感じる人が7割を超えるそうです。同じ調査で、99%の人が少なくとも1日1回はメールを確認するそうなので、返信は24時間以内あたりが「オトナのボーダーライン」のようです。



返信事情昨今

SNSやLINEがすっかり日常的になりました。ちょっと昔までメールはこんな風に使われていました。「電話は相手の都合を無視して掛けるので、失礼に当たる場合もある。メールなら手の空いた時に読めるから」しかし、最近は「即レス」が当たり前、すぐに返信がないと「嫌われた」「無視された」と感じる若い人たちも少なくないとか。オイオイ仕事(授業)中は無理だろ?と思うのですが。ビジネス的視点ではどうなのでしょう。一般社団

編集後記

■ちばさぼ通信、5月号からほんの少しリニューアル!これからも宜しくお願いします。(か) ■新「ちばさぼ」がスタート。変わるところは心機一転、変わらないところは大切に、頑張ります。(よ) ■健康のため、なるべく階段を使うようにしています。職場のある9階まで上ることも、最近は苦でなくなってきました。(は) ■新体制で迎える新年度になります。より使いやすく親しみの持てる施設に(^^) (ふ) ■気がつけば、あっという間に桜の季節は終わり、藤や菖蒲の季節に、「ぼーっと生きてるんじゃねーよ」とチョコちゃんに怒られそうです(笑)(な) ■初めまして。63歳の挑戦!新しく「ちばさぼ」スタッフとなりました。どうぞよろしくお願ひいたします。(ひ) ■この春小学校に入学した孫とLINE電話。スマホを使いこなす孫と顔を見ながらの通話に時の移り変わりを実感し思わず苦笑!(り) ■新たな肩書に戸惑って、いや不手際なセンター長に戸惑っているのはご利用の皆さんやスタッフです。ゆるゆるとお付き合いください。(や)